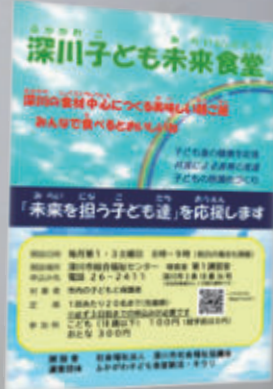


# ふかがわ 社協だより

令和7年  
**2月**  
第135号



表紙 深川子ども未来食堂  
(12月21日/働く婦人の家)

会場には、幼児・小学生とその保護者21名が訪れ、「ふかがわ子ども食堂・朝活キラリ」のメンバーが作った朝食を味わいました。初めての開催でしたが、会場では「すごくおいしかった」「みんなと一緒に食べれて良かった」という声が多く聞かれました。

## CONTENTS

- 新年のごあいさつ 2
- 寄贈いただき ありがとうございます 3
- 生活支援コーディネーター通信 6
- 教養講座に参加しませんか 7
- 児童センター通信 8

**特集** サポーター養成講座のご紹介  
お互いさまの地域づくり  
生活介護支援サポーター養成講座  
認知症サポーター養成講座 4-5

編集・発行

社会福祉法人 **深川市社会福祉協議会**

深川市3条18番36号 総合福祉センター内  
電話 26-2411 FAX 22-1443  
ホームページ <https://fukagawa-shakyo.jp/>



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています



# 新年のごあいさつ

社会福祉法人深川市社会福祉協議会

会長 三ツ井 隆 博



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、日頃より社会福祉協議会の運営並びに各種の地域福祉活動やボランティア活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化・人口減少が加速化し、様々な影響が表出しています。これまで当たり前にあったものが無くなったり、出来なくなっています。

特に、介護福祉の分野は深刻さを増しています。全国で介護事業所の休廃止が急増し、倒産件数は過去最多となっています。介護職員も、四〇年度に五七万人不足すると見込まれる中、二三年十月時点で前年より二万九千人減り、制度創設以来初めて減少に転じていたことが明らかになりました。

また、道内では七五市町村で、望む介護サービスが受けられず転出した住民がおり、人口減少の要因にもなっています。空知管内の社会福祉協議会においても二三年度の介護保険事業は大半が赤字になっており、休廃止を検討しているところもあります。

加えて、昨年四月の介護報酬の改定で、訪問介護の基本報酬がマイナス改定となるなど、人手不足と経営難で苦しむ事業所への打撃は大きく、深川・北空知においても同様であり、いつ「介護難民」が発生してもおかしくない状況にあります。もはや一事業所で解決すること

は困難であり、深川市はもとより北空知広域であらゆる対策に協働して取り組む必要があります。

また、本協議会の経営も引き続き厳しい状況にあります。人口減により会費・寄付金収入は漸減しており、収入の大半を占める補助金・委託料の引き上げは小幅で、介護報酬は引き下げとなり、経費増に対応するものになっていません。経営改善には不断の取り組みが必要であり、市民の皆様には、賛助会員、寄付金・共同募金等へのご協力を引き続きお願いいたします。

先行き不透明で不確実な時代、人間関係の希薄化、社会的孤立や生活困窮、介護や子育てに対する不安など、地域の福祉課題が複雑・多様化しております。こうした課題に対して、地域の皆様と一緒に考えながら解決に向けて取り組むのが地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会の役割であります。

本協議会では昨年、職場環境や事務事業の改善を進め、教養講座や研修会等を毎月開催し、多くの市民に参加いただいたほか、暮れには、関係団体と協働で「子ども未来食堂」を開設し、また、ご縁があつて中外製薬（株）から寄贈いただいた福祉車両の貸出事業を実施すべく取り進めております。

二五年度は、「地域福祉実践計画」および「経営改善計画」の三年目となります。「市民に信頼される持続可能な法人運営の基盤づくり」を進めながら、計画の基本理念である「お互いさまの心や気持ちがあつながらるまちづくり」の実現に向け、役職員一丸となって取り組んでいく考えでありますので、市民の皆様には、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この一年が市民の皆様にとって幸多き年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。





# 寄贈いただきありがとうございます

深川市の地域福祉活動に、幅広く活用させていただきます

**寄 贈**

## 中外製薬(株)様から在宅福祉車両の寄贈がありました!



### 【経緯】

中外製薬(株)では、1985年に迎えた創立60周年の記念事業として、毎年、全国各地の市町村社会福祉協議会等に在宅福祉車両の寄贈を行っています。令和6年度は全国社会福祉協議会の推薦を受け、深川市社会福祉協議会が寄贈先に決定し、昨年12月に寄贈式が行われました。心より感謝を申し上げます。



### 【活用方法】

高齢や身体機能の低下等により自力で外出困難な方の移動手段として地域福祉事業の実施団体へ無料で貸出し、高齢者等の社会参加を促すことにより介護予防を図るとともに、地域福祉事業の充実に寄与することに活用していきます。

貸出条件がありますので、詳しくは事務局へお問い合わせください。

**寄 贈**

## (株)北海道コカ・コーラボトリング様から飲料水の寄贈がありました!



昨年12月に『クリスマスプレゼント』として同社製品の飲料水の寄贈がありました。

市内で開設している障がい者関連施設3カ所へ寄贈の趣旨をお伝えしてお届けしました。



**寄 贈**

## (株)ツルハホールディングス様・クラシエ(株)様から車いすの寄贈がありました!

昨年12月に(株)ツルハホールディングス様とクラシエ(株)様から共同で車いす4台の寄贈がありました。

本会で行う福祉機器等貸出事業で活用させていただきます。

本会では、車いすのほかポータブルトイレ、歩行器、シャワーチェア等の貸出も行っておりますのでご利用ください。貸出には一定の要件がありますので、詳しくは事務局へお問い合わせください。







### 認知症サポーターの役割とは?

認知症サポーターとは、なにか特別なことをする人ではありません。認知症に関する正しい知識と理解をもち、地域や職域で、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で手助けをする人のことです。

## 認知症サポーター養成講座



## 生活介護支援サポーター養成講座



### 生活介護支援サポーターの役割とは?

住み慣れた自宅での生活を続けるために、高齢者や障がいのある方に、介護保険サービス等では対応できない困りごとなどへの支援活動です。活動に特別な資格等は必要ありませんが、年1回開催する養成講座(写真)を受講し、登録していただいた方が活動しています。



**学校や地域での取り組みも広がっています**  
 本会では深川市の委託を受け、認知症サポーターの養成を行っており、これまで、延4千人を超える方々に受講いただいています。最近では、地域の方々をはじめ、職場や学校単位での開催も広がっています。受講された方からは、「認知症の症状や認知症サポーターについて、役割などをしっかり理解できました。また、認知症の人への対応の仕方をしっかり覚えることができました。(中学生)」「認知症への理解を深め、お客様や家族など身近な人の変化に気付けるよう意識をしよう」と思っています(一般)などの感想が寄せられています。  
 養成講座は、団体(地域・職域・学校)などの単位で受講することができます。講座の時間は九十分程度、受講費用は無料です。受講された方には、テキスト・オンラインリング(左の写真)・登録証をお渡ししています。受講を希望される方は本会までお申し出ください。



**困りごとに寄り添うお手伝いの活動**

現在、四七名と一団体がサポーターに登録していただいております。実際の活動では、ご本人とのコミュニケーションを大切にして、一緒に困りごとを解決するためのサポートをします。今回は、具体的な活動と対応方法についてご紹介します。

- 用事を足そうと思うが、妻をひとりで留守番させるのは心配**  
 ●訪問して見守りをしたり話し相手をします
- 耳が聞こえにくくなって、病院の診察室でお医者さんの話が聞き取れない**  
 ●一緒に病院に付き添って、お医者さんの話を聞いてあとでゆっくりお伝えします
- 最近、家周りの作業が大変になってきた**  
 ●お話を聞きながら、できない作業を手伝います
- 腰痛で高い所に手が届かなくなり、使いやすいように物を移動したい**  
 ●お話を聞きながら、使いやすい場所に物を移動します

【活動で気を付けたいこと】  
 ○約束を守りましょう!  
 ○守秘義務を守りましょう!  
 ○連絡先を忘れずに活動しましょう!

←生活介護支援サポーターはこの登録証を持参しています

利用を希望される方は本会までご相談ください。利用料金はサポーターごとに1回500円です。別途、交通機関を利用した場合には、その費用もご負担いただきます。



## モデル地区が取り組む お互いさまのつながり



高齢になっても 住み慣れた地域での暮らしが続けられるように

### あけぼの町内会の支え合い

令和6年、「ざだん(座談)集会inあけぼの」を2回開催しました。話すことで、参加者同士お互いの距離が近くなったとの感想がありました



ざだん集会

7月12日

ざだん会の中から聞こえた声を実践してみることに……  
免許返納後の交通手段を考え、バス乗車体験を実践!



ざだん集会 パート2

11月29日

5年後のあけぼのの暮らしを想像しながら話しました



バス乗車体験と買い物ツアー

9月26日

みんなでバスに乗ってお買い物に行きました。荷物を持ち合うなど声を掛け合い、つながりを実感しました



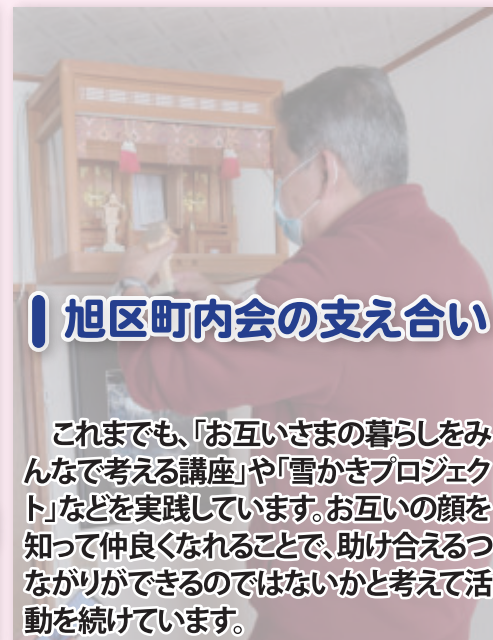
町内会ボランティアによる神棚掃除

新年に向けて高い位置にある神棚をお掃除しました



12月13・14日

神具の汚れもていねいに拭き取りました



### 旭区町内会の支え合い

これまで、「お互いさまの暮らしをみんなで考える講座」や「雪かきプロジェクト」などを実践しています。お互いの顔を知って仲良くなれることで、助け合えるつながりができるのではないかと考えて活動を続けています。



# 教養講座に参加しませんか!



生活に役立つ様々な講座を開催しています。  
本年度後半に開催した主な講座と、これから予定している講座を紹介します。

**護身術講習**

講師 深川 聖奈 警署 警員

他人から危害を加えられそうな時  
自分の身を守るための知識や技術  
護身術を学びましょう!

日時 10月1日(火) 18時~19時  
場所 総合福祉センター 教養倶楽室  
参加費 無料

誰しも予想外の出来事に遭って、  
パニックになります。



54名の方が参加し、「もし他人から危害を加えられそうになったとき」に備えて、  
護身術の実践を交えながら学びました。

教養講座・認知症サポーターフォローアップ研修  
【認知症認知症ケア研究会 協賛】

**認知症の人を支える  
お互いさまの地域づくり**

10月4日(金) 17:30~19:00  
(受付 17:00 開始)

経済センター 3階 多目的ホール

講師 大辻 誠司 氏



82名の方が参加し、「自分や身近な人が認知症になっても、住み慣れた地域で安  
心して暮らせるお互いさまの地域づくり」について学びました。

整理 収納 講座

年末大掃除を楽にする!!コンパクトな整理収納!!

12月7日(土) 10:00~11:40

経済センター 多目的ホール

講師 スッキリ暮らしが主眼、市販書籍「片づけジョーズ」著者  
整理収納アドバイザー 松浦 重矢



84名の方が参加し、「これからも住み慣れた家で暮らし続けるために、普段から  
物を減らして片づけを楽にする整理収納のコツ」を学びました。

これから開催する講座はこちらです↓↓↓

参加無料です!気軽に参加してませんか?  
**【スマホ初心者向け体験教室】**

内容:【ソフトバンクのスマホセミナー】  
どんな機能から、スマホがどんな便利なものか!  
・ガラケーとスマホの違い  
・基本操作やマップ、カメラや写真アプリ体験、他  
※スマホは講師が用意したものを提供します。

日時 2025年3月3日(月)  
午後1時30分~午後3時30分

会場 深川市総合福祉センター・第1講習室  
定員:15名(先着順)

申込方法 「電話」または下記「お申込票」により  
令和7年2月21日(金)までにお申し込みください。  
※定員になり次第、締め切ります。

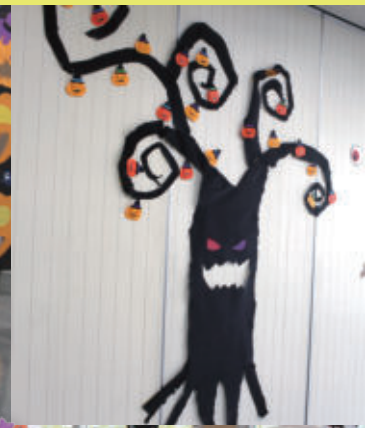
スマホ初心者向け  
体験教室

ソフトバンク株式会社による体験教室

- ▶ 日時 3月3日(月) 午後1時30分~3時30分
- ▶ 場所 総合福祉センター
- ▶ 定員 15名(先着順)
- ▶ 講師 ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー
- ▶ 申込方法 電話 26-2411へ
- ▶ 申込期限 2月21日(金)
- ▶ その他 参加費無料  
スマホは講師が用意します

→こちらからも  
申込できます





## ハロウィンイベント



児童センターは地域の幼児から高校生（0歳～18歳）が自由に遊ぶことができる施設です。季節ごとの催し、運動やものづくりのレクリエーションを実施していますので、遊びに来てください！

開館：月曜日から土曜日  
午前9時から午後5時まで  
（日曜日と祝日は休館）  
※幼児は保護者同伴



## クリスマスイベント

